

会 議 録

会 議 名	第 2 9 期第 6 回小金井市公民館運営審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成 2 0 年 3 月 2 8 日 (金) 午後 3 時から午後 5 時 5 分		
開 催 場 所	小金井市公民館本館 学習室 A ・ B		
出 席 委 員	大橋委員長 田頭副委員長 内古閑委員 君塚委員 熊谷委員 長田委員 竹内委員 道城委員		
欠 席 委 員	佐野委員 木村委員		
事 務 局 員	中嶋館長 鉄谷庶務係長 松本事業係長 鈴木主査 長堀主査 葛城主査 渡辺社会教育主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	2 人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 第 1 回市議会定例会について</p> <p>(2) 小金井市教育委員会の基本方針について</p> <p>(3) 各館事業の報告について</p> <p>(4) その他</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 東京都公民館連絡協議会定期総会等について</p> <p>3 審議事項</p> <p>(1) 各館事業の計画について</p> <p>(2) 公民館の基本方針づくりについて</p> <p>(3) その他</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 各館事業の報告</p> <p>(2) 平成 2 0 年度公民館事業計画</p> <p>(3) 平成 2 0 年度公民館運営審議会日程および場所</p>		

会 議 結 果

中嶋館長 第29期第5回会議録につきましては、委員のご確認を得て清打ちし、送付しております。ご承認よろしいでしょうか。

大橋委員長 皆様から修正があったと思いますが、確認していただき承認いただけますか。

委員一同 承認します。

1 報告事項

(1) 第1回市議会定例会について

中嶋館長 平成20年度第1回市議会定例会について、2月21日から3月24日の期間中議案等が審議されました。議会最終日の3月24日平成19年度一般会計補正予算、平成20年度一般会計予算等は原案可決となり、皆様に公民館の予算書を配布しました。一般質問、厚生文教委員会、行財政改革調査特別委員会について、直接的には公民館には質問はありませんでした。予算特別委員会については、当初4日間を予定していましたが、19日の予備日に延伸し5日間となり、3日目の第Ⅲ区分教育で質問がありました。

○ (仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設について丸々丸後後後期基本計画の財政フレームに平成22年度基本設計を予定していますが、平成19年度第4回市議会定例会一般質問で、現下の厳しい財政状況から第4次基本構想で対応すると、市長から答弁しています。今後、地域還元施設である北一会館の取り扱いは、地元との長年の経過がありますので、政策決定等、具体的な検討をすることになります。

○ 貫井南分館耐震補強等工事について

工事期間は5月29日から9月30日まで、7月28日から9月15日を一時閉館と予定しています。公共施設予約システムの関係で、4月20日から7月分の部屋予約が入りますので、4月15日号市報、4月月刊公民館、4月ホームページに掲載をし、周知していきます。ポスター、チラシ等遺漏なく措置といたします。

○ 平成20年度一般会計予算について

竹内委員の要望により、対前年比を併記しています。平成20年度一般会計予算より公民館の歳出について、1億3,787万9千円、対前年比で約37%減となりましたが、貫井北町地域センター用地取得費年賦分、約1億700万円の支払いが無くなりましたので、勘案して対前年比で増となります。増の理由は、貫井南分館耐震補強工事関係等で、街づくり交付金の一部交付予定です。支出すべき項目は減らせませんので、現在、審議をいただいている基本方針づくりに関連して業務の見直しを図っていきたいと思います。事業予算の特徴として、少年教育事業と青年教育事業を見直しし、成人教育事業で世代を超えた講座の充実を図り、一部国際化を図る講座を充実します。また、男女共同参画教育事業も同じく団塊の世代に男女共同を考えてもらうよう充実します。その他として、情報活用能力育成事業のパソコン講座

を見直しして本町分館に第4番目のITサポートセンター「パソコンなんでも相談」を開設いたします。なお、平成21年度に東分館にもパソコン講座からITサポートセンターの開設を予定しています。詳細につきましては、予算書をご確認願います。

大橋委員長
竹内委員

この市議会定例会と予算について、質問がありますか。

本年度は13,700万、前年度は18,900万、前々年は20,500万と思うが、ずっと公民館予算が全体として減っています。37%でなく、27%では。

中嶋館長
竹内委員

27%減です。

前年比51,959千円ダウン、減っているのは、今まで払っていた土地ローンが0になって、維持補習補修費につけてもらった。その点は評価するのですが、全体として減っているという意味が社会教育に対する予算の使い方が薄くなっているのではないですか。

中嶋館長
竹内委員

これは、生涯学習部全般で考えねばならないという事で、施設の改修とか、故障とかの措置が大きな負担となっています。

そうは言っても、18年度、19年度に減った理由と、19年度、20年度に減った理由は違いますよね。1億のローンを払わなくても済むが、その代わりに6,400万の維持補修費を組んだので、4,600万増える。そこを強調すると、数字的には実質的には減っていませんよね、そういう風に理解すればいいですよ。

中嶋館長
竹内委員

そのようになります。

このほかに人件費がありますね。

中嶋館長
竹内委員

別になります。

20年度は、19年度に比べて職員は減ったのですか

中嶋館長
竹内委員

現時点では、同じです。

中嶋館長
君塚委員

正職も嘱託も同じですね

職員年齢は、確実に1歳上がります。

減の率が高い 男女共同参画、少年教育経費なんですけど、どうして事業減となって行くのですか。

中嶋館長

例えば、団塊世代対応について前年57回から88回に増えます。また、男女共同参画講座を団塊の世代対応講座の中で男女共同を理解していただけるよう講座を増やす等、成人教育事業に要する経費の中でとり扱って行くようにします。

田頭副委員長
中嶋館長

そうすると全体の講師予算枠は変わらないですね。

全体的に見直しをしていきませんか、備品も買い替えできませんし、消耗品も増えています。全体的に見直しを図る必要があります。

田頭副委員長

少年教育事業に要する経費について、子どもの体験教室はいかがですか。

中嶋館長

少年教育事業とすると、どうしても子どもたちの参加が少なくなっています。各館事業の結果を見られるとわかると思いますが、異世代交流については、別途成人教育事業の中で予算措置はしていますが、更に、異世代について、成人教育事業の中で幅広く取扱う方向といた

します。

田頭副委員長
中嶋館長

異世代交流の中に含まれるということですね。

異世代は異世代で別途、予算措置をしております、その他に団塊世代とか、成人教育事業の中で幅広く関わりを持たせて異世代交流も出来るようにしていきたい。

田頭副委員長
中嶋館長

その部分は増えるということですね。

事業として効果的で幅広く出来ると思います。

田頭副委員長

企画する実行委員、職員とで成人教育事業のなかで取り扱うということですね。

中嶋館長

そうです。企画実行委員と職員とで、従来どおりです。

田頭副委員長

そのように見直しをして、各館の事情に応じて出来るということですね。そこを上手に実施していくには連携がとても大切です。

君塚委員

9番の情報活用能力育成講座の経費が大幅に削減されている理由は。

中嶋館長

情報活用講座ですが、大幅に削減をしていますが、東分館と本町分館のパソコン講座を19年度に各々約10回実施していましたが、20年度に本町センターではパソコン講座を見直し、その代りにパソコン何でも相談、第4番目のITサポートセンターを開設します。予約無しで1時から3時まで毎週土・水曜日に開設します。お知り合いにも是非PRしていただければと思います。

田頭副委員長

全くのボランティアですか。

中嶋館長

有償ボランティアです。予算措置をしています。

大橋委員長

予算に関してですが、今度の基本方針との関係もありますが、決まってから質問するのではなく、21年度からは決まる前に質問したいと思います。他にございませんか。予算については宜しいですか。次に、教育委員会の基本方針について説明願います。

(2) 小金井市教育委員会の基本方針について

中嶋館長

小金井市教育委員会の基本方針等について、説明いたします。小金井市教育委員会の基本方針及び平成20年度教育施策、その上に教育目標、そして事業展開に基づく教育事業について一式を配付しています。昨日、第3回教育委員会定例会が開催され、議案第2号「小金井市教育委員会の基本方針及び平成20年度教育施策について」継続審議でしたが、原案可決となりましたので、本日、皆様に配付いたしました。そのため、まだ資料の上に新が付いています。議案資料として新旧見開きで継続審議となっていましたので、修正後、修正前を新旧としています。そして、審議において、わかりやすく、小金井らしさ、内容は重複しないように等、修正されて原案可決となりました。そして、平成20年度基本方針に基づく教育事業について、綴じこんでいないのは、教育委員会の議案書でなく、公民館運営審議会委員に公民館の予算がどの項目に対応しているか、基本方針づくりの参考として配付しました。公民館部分は基本方針4のところ公民館活動の充実については、これまで説明してきましたとおり、前年度とほぼ同じにしています。

大橋委員長 これについて質問等ありますか。あとの審議にも関連していますので、その時受けたいと思います。

大橋委員長 アンダーラインの部分が変わったところですか。

中嶋館長 継続審議になった部分で、そこを直しました。

大橋委員長 あと、基本方針の審議の時に気づいたら質問ねがいます。次の各館事業にはいります。

(3) 各館事業の報告について

中嶋館長 一部訂正があります。松本係長から説明いたします。

松本係長 第6回公運審公民館事業報告の中で、訂正があります。東分館の事業ですが、本町分館の項目として11となっていますが、子ども体験講座ときめき科学実験は東分館になります。本町分館は男女共同参画講座の、今日からできる認知症予防と男女共同参画講座の「アートフラワー」、男女共同参画講座の「風呂敷おしゃれにエコライフ」、成人学校「菜園教室」、これまでが本町分館です。11頁の次頁に表題・「平成19年度菜園教室行事・作業記録」がありますが、この表は10頁の本町分館成人学校「菜園教室」の資料ですので、その次頁にしてください。

大橋委員長 では続いてお願いします。沢山ありますので、なるべく簡単に説明願います。

松本係長 本館から説明をします。特徴的だったのは、子どもの人権講座を私が担当いたしました。資料3ページに報告があります。人権ということで、かなり硬いイメージがありましたが、それぞれ講師が、今の子ども達がどう生活しているか、どう思っているのか、どう生きているのかそれぞれ活動している場があり、子どもの表情、行動について、体験を通して詳しく聞くことが出来ました。人との関わりについて、大人は、子どもにいろいろとつい口にするが、意外と子どもの行動の妨げになっているという話もあり、目から鱗が落ちる思いでした。この事業に関しては、54人の応募(30人募集)がありました。受講者は27人、述べ99人でした。感想からも好評で、終わってからも活発な質疑応答がありました。この講座については20年度も継続していこうかと思っています。

鈴木主査 本町分館の鈴木です。「今日からできる認知症予防」、「アートフラワー」、「風呂敷でおしゃれにエコライフ」、それと年間を通して行った成人学校「菜園教室」、この中の認知症予防について、団塊世代の人はどうしたら健康な老化を迎えられるかについて興味があったと思います。次に9ページの「風呂敷でおしゃれにエコライフ」は私が担当していますが、印象的だったのは、エコブームなんですけど、風呂敷は使ってくれない、試しに自分で風呂敷を買物に持参したら便利であり、なるべく、風呂敷を利用していただければと思います。

大橋委員長 これが、どうして男女共同参画講座になるのですか。

鈴木主査 私も迷いました。カルチャースクールにならないかという思いもありましたが、エコに対する考え方に、男女が参加してもらえたらとの

考えがありました。この講座に男性が参加され喜んでもらったことが嬉しかったです。今後、どういう講座内容にするか考えていきたいと思えます。

大橋委員長

私が質問した主旨は、こういう前年度踏襲型は見直す必要があるのではないかとということです。予算の関係もあるでしょうが、予算をもっと自由な方向で組むことについて、次からは予算の組み方についても再検討する必要があると思えます。

中嶋館長

補足させてください。基本的には委員長の言うとおりで。公民館事業には2つあります。1つは、地域コミュニティーづくりにより地域を活性化、活発化させていくこと。そして、公民館は社会教育施設であり、新しい人はなかなか入って来にくいところもあります。来てみようかという、キッカケづくりには、カルチャー的なものを切り捨てるわけにはいかない面もあります。

大橋委員長

それはそれでいいですが、每期同じものを組み込むのは硬直化しています。

中嶋館長

ご意見をいただいて、見直していきたい。

大橋委員長

次は東分館ですか。

長堀主査

東分館の長堀です。子ども体験講座ときめき科学実験、小学校高学年を対象に、人数は11名で、家庭でも学校でもできない色々な機器、機材を使った実験を行いました。大変充実した講座でした。2年間実施しましたが東京電機大学附属中学高等学校では学校が相当負担しています。材料費一人1,000円ですが、一回1,000円ぐらいかかる、それが4回で1,000円ですので、いろいろ薬剤、器具、使い捨てゴム手袋等、学校の負担が大変です。また、教員が合計6人ほど講師として係わり、在校生10人ぐらい補助として手伝う等人的負担も相当大きいものがありました。そのため今年で最後にして下さいとあらかじめ言われていますので、来年は出来ません。それから栗の実学級ですが、先日木曜会の報告をしましたので、今回は火曜会になります。今年度から学級を2クラスに分けました。これで、火曜会が終わり全部終わりました。次年度もほぼ決まり、2クラスで2年目も実施することになっています。火曜会33名、木曜会67名、計100名の参加がありました。それから、男子厨房番外篇ですが、21名(70名の応募から抽選で決定)、手打ちパスタ、手打ちそば、2回という限られた回数でしたので、出席率も高かったです。今回、70名からの抽選ということで、団塊世代を中心に50、60歳代の中から抽選しました。学級では和気藹々と、非常にあかるい雰囲気、満足したのではないかと。パソコン入門については、東中学校で実施の講座で、60名弱の応募があり抽選で30名にしました。来年を以って最後にする予定です。

大橋委員長

質問がありますか。

田頭副委員長

多彩な事業をいろいろやられていると嬉しく思いました。実施の日程ですが、3月に入って事業が遅かったのが3月15日の子ども人権

講座です。以前貫井南で春休み以外に参加が難しい中高生の講座を、年度末の3月に企画しました。中高生は参加が難しいといわれていますが、中高生のベビーシッター養成講座を企画し、子ども家庭支援センターとも連携が出来ていたんですが、結果はできませんでした。実際、年度末は難しいのでしょうか。

中嶋館長

年度末は、予算執行のからみで、講師謝礼の手続き等も含め単年度予算ですので、何回かの講座の最後となるように各館は事業日程を組みます。過去にそういう例があったということは、説明が足りなかったと思います。

田頭副委員長

冬休みだったら

中嶋館長

綿密に計画をし、そして実施すれば宜しいのではないかと思います。

田頭副委員長

子ども家庭支援センターも協力することになっていました。また、協力いたします。

中嶋館長

宜しく願いいたします。

大橋委員長

他にありませんか。それでは私の方から、子ども体験講座が少なくなるということですが、今の子どもの理科離れは、日本にとっては由々しきことです。特に考える力が衰えています。主として学校教育の問題ですが、生涯学習として公民館で学習させ理科の実験をする講座は大事なことです。又学校教育との関係もあります。次世代を担う子どもの理科に係る教育を公民館でどうするかです。

大橋委員長

参加者は実費ですね、1回1,000円にしてとか。

内古閑委員

先日、社会教育委員、図書館協議会委員、公民館運営審議会委員による、三者懇談会があり、青少年の科学の祭典の報告等を配りました。今度、市制50周年記念行事として、市が入ってくれて、1万人規模の科学の実験をやろうとしています。去年の9月9日は89ブース、小学生だけにとどまらず、今度は100ブースにしよう、そのほか、小金井の皆さんが礼儀正しかったとお褒めをいただきました。事故無く、科学の祭典を無事に出来ました。そこで、提案ですが、公民館も9月15日に出展していただけたら嬉しいです。いろいろな教育団体に入ってください、場所は東京学芸大学を予定しています。

大橋委員長

公民館の参加も意義あるかとは思いますが、検討してみましよう。

竹内委員

委員長がおっしゃったことは大変いい提案ですね。是非考えましよう。市民との協働は市の方針ですが、公民館の中だけで考えないで、外の団体と連携を考えましよう。

内古閑委員

教育委員会も入っていますので、学校でもいろんなことを計画しています。東京大会 in 小金井という名前もいただいています。

大橋委員長

是非公民館でも出展するということを検討してみてもどうですか。

中嶋館長

教育委員会の学校教育部、生涯学習部も入っています。どうすれば子ども達に一番喜んでもらえるかという創意工夫は無限にあります。

内古閑委員

公会堂で、ボランティアグループが、どうしましようということで、地域ぐるみということで、サイエンスライブショーをやりました。

中嶋館長 大橋委員長	公会堂で、青色ダイオードを取り扱っての実験をやっていました。地域で連携して、良い機会ですから考えていくのが公民館ではないか。
熊谷委員 熊谷委員	検討して下さい。 私も去年初めて参加しました。私は商工会の会計をやっていますが、代表者はどういう人が来るのか興味があります。年代層とか、若い母親と子ども連れが多いですね。科学に関心をもって熱心に見ています。だから、無事故で終わったのです。今年は100ブース、去年は8千何百人でしたが、今年は1万人目標でやっていきますから。安全にやろうということで一緒に検討しています。
大橋委員長 内古閑委員	公民館も出しましょう、いい機会です。 小金井の人まで褒められたのですよね、全国を見ていらっしゃる方が小金井は、すごく礼儀正しい。ありがとうございましたと言って帰った。
中嶋館長 大橋委員長	50周年の冠事業もありますし、更に検討していきます。 皆で、おもしろく、事務局長がいますので全体をよく知っていますから。
田頭副委員長	事務局長には期待していますが、地域でも科学教室を20年やっていらっしゃる方で科学賞も受賞された素晴らしい方もいらっしゃいますので、公民館も連携しやすいと思っています。
中嶋館長	夢を実現していきたいと思いますので、皆様ご協力宜しくお願いします。
大橋委員長	もう一つ、質問宜しいですか。高齢者学級の男女比はどのくらいですか。
長堀主査	会議録やホームページを見ていただければ、細かい内容がでていますが、概ね7割か8割が女性です。
大橋委員長	私も講座をやっています。地域デビュー地域参加講座、男性が地域デビューですか、それと、手打ちパスタの講座が沢山出来ましたね、これを、地域デビューのきっかけにするように。
長堀主査	それは、男子厨房番外編となっていますが、今回は今年の5月～6月にかけてその後自主グループという形で、10月から活動がスタートし、現在おやじランチという形で続いています。100%男性で、最初は5人でスタートしましたが、1月に「月刊こうみんかん」で募集して7人ほど集まって現在12名ぐらいの人数で月1回でやっています。私も2回ほど自主参加しましたが、和気藹々で、やっと誕生しかけた男性の自主グループを軌道に乗せて見守ってほしい。講師との繋がりも出来ましたので今後に生かして行きます。
大橋委員長 葛城主査	どうも有難うございました。次は緑分館お願いします。 ボランティアスタッフ養成講座ですが、最初は国際交流の会でやっていたのを、10年前から緑分館でやっています。例年、国際日本語普及協会の会員と、東京学芸大学の留学生交流会館の先生を講師に招いています。共働夢農園は3コース、野菜づくりコースは毎週木曜日、

4月から9月親子コースですけれども、子どもが、土曜日が忙しい。参加した人の感想文では楽しかったと寄せられています。最後にクラシックコンサートを、3月にやりました。毎年緑分館では秋に音楽鑑賞の集いをやりますが、今回はクラシックだけをやりました。2人ですが、有名ではないですが国際芸術協会新人演奏会で賞をもらえるほどの方で、良い雰囲気でした。

大橋委員長 何か質問ありますか。なければ、次報告願います。

(4) その他

ア 三者懇談会について

中嶋館長 その他になりますが、三者懇談会は過日3月21日(金)午後2時から16時15分まで実施、生涯学習課が本年度は担当、公民館運営審議会委員、社会教育委員、図書館協議会委員の出席で開催されました。参加された方々から感想をお願いします。

大橋委員長 私から、大変有意義な会合でした。社会教育委員から生涯学習推進計画が16年度に作成されたのを改正するという事です。生涯学習センターという構想があり、生涯学習と公民館施設の関わりが深いので今後とも、協力していくという方向で話し合いました。

田頭副委員長 図書館協議会は年3回の開催でしたが、年5回になります。互いに熱意が伝わるといい関係が出来るという話が印象的でした。

長田委員 他の委員会がどういうことをやっているかが良くわかりました。

大橋委員長 今後、三者でいろいろと連絡があるかとは思いますが、宜しくお願いします。

中嶋館長 情報がありましたら、こちらから提供させていただきます。

大橋委員長 続いては、

イ 東京都公民館連絡協議会委員部会第2回研修会の結果について

中嶋館長 東京都公民館連絡協議会委員部会の第2回研修会は、過日3月1日(土)午後2時から4時、東久留米市役所で「公民館と指定管理者」について、千葉大学の長澤成次教授による研修会に公運審委員から大橋委員長と長田委員、私、渡辺社会教育主事が出席しました。皆様の感想などいただければ、

大橋委員長 私の方から言いますと、予定では指定管理者制度についてでしたが、前日改正社会教育法が閣議決定されたので、それが中心となりました。主な改正点は家庭教育、地域連携、特に公民館がうたわれ、情報化への対応です。市民の要請に応えるということが言われています。私からすれば当然のことと思いますが、長澤教授は反対されていました。次は長田委員ですね。

長田委員 改正教育法ということで、改正された時に主としてどう考えればいいのか、伺いたいという気持ちを持ちました。別件ですが、公運審の委員部会研修会の話しがプリントして配られましたが、4月16日の総会で委員部会の運営要領が変わり、各市から1名の選出をすることになります。私ごとで恐縮ですが、4月以降は出席しにくくなります。是非、別の委員を選出していただきたい。

中嶋館長 話す。この後協議事項がございますので、そこで話をしていきたい
と思います。

大橋委員長 研修会について、館長から何かありますか。

中嶋館長 長澤教授は、指定管理者制度に造詣の深い方で、当日有意義な話が
聞けたと思います。また、社会教育法改正が閣議決定されたというこ
とで、その各改正項目についての解釈をされたのが大きかったと思
います。

ウ 公民館運営審議会の年間計画表について

中嶋館長 次に、公民館運営審議会の年間計画書を通知と一緒に送付しまし
た。日程どおりですが、11月28日（金）については、議会の初日
ですので11月21日（金）に変更させていただきます。3月、6月、
9月、12月は議会月ですので、議会と重複する場合があります。わ
かり次第できるだけ早く、皆様にはご連絡したいと思います。

大橋委員長 次回の日程は

エ 次回日程について

中嶋館長 4月25日（金）午後3時、こちらの本館学習室ABです。

2 協議事項

(1) 東京都公民館連絡協議会定期総会等について

大橋委員長 それでは協議事項ですね。

ア 東京都公民館連絡協議会定期総会の代議員選出について

中嶋館長 東京都公民館連絡協議会定期総会の代議員選出です。4月16日
（水）午後2時から東久留米市立中央公民館ホールで開催されます。
公民館運営協議会委員から2人の代議員選出をお願いします。4月2
日までに都公連に回答をする必要があります。職員は5人と公民館長
が代議員となります。

大橋委員長 2名ですね。私と…。長田委員はいかがですか。

長田委員 今のところ大丈夫です。

中嶋館長 大橋委員長と長田委員ということで、宜しくお願いします。

イ 第46回東京都公民館研究大会企画委員の選出について

本年12月14日（日）まちだ中央公民館で第46回東京都公民館
研究大会がありますが、それに先立ち企画委員として、第1回が4月
17日（木）13：30からまちだ中央公民館で、今後月1回の予定
です。公運審委員から1名をお願いします。

大橋委員長 1名ですね。長田さんをお願いしたいところですけど、難しい。今
度は女性の委員を、

長堀主査 補足しておきますが、来年度は小金井市が大会事務局市となりま
すので、企画委員になる委員は、是非次回の研究大会を見据えてお願
いします。職員も同じです。

内古閑委員 9月15日が成功しないと、難しいです。

中嶋館長 それと、東京都公民館連絡協議会の委員部会委員を長田委員がや
っていましたが、ご多忙ですのでそちらも1名、併せてご協議お願
いします。

大橋委員長	企画委員は私がやります。
中嶋館長	大橋委員長が企画委員に入ってくれます。
大橋委員長	委員部会委員とは別です。
大橋委員長	長田委員がやられていました。
長田委員	これまでは、企画委員会と同じ日にやっていました。
大橋委員長	皆忙しいのは皆さん同じです。是非ご協力を。
田頭副委員長	何人かで担当するというのは構わないですか。
長堀委員	大会企画委員は同じ人でないと。
大橋委員長	委員部会を大会企画委員会と同じ場所でやることになると思いますが、大会企画委員の会議は本年度は東久留米で行うのですか。
渡辺社会教育主事	町田です。
大橋委員長	だいたい同じところでやるのですね。
中嶋館長	2ヶ月に1回、いや2～3月に1回、毎月ではないということです。
長田委員	運営委員会は毎月あります。運営委員会では研修会は年3回予定し、その企画・運営のしかたについて検討してきました。
中嶋館長	旅費はこちらで予算措置しております。
田頭副委員長	休んでもいいですか。
中嶋館長	当然ありえます。欠席される方もいます。
田頭副委員長	私の名前にして、佐野さんにも声をかけます。各委員で相談しながらということとします。日程は早めにご連絡願います。
中嶋館長	田頭副委員長のお名前にさせていただきます。
大橋委員長	協議事項はそこまでですね。
3 審議事項	
(1) 各館事業の計画について	
大橋委員長	それでは、審議事項の各館事業の計画について入ります。
中嶋館長	平成20年度公民館事業の計画を添付しています。新年度が始まったばかりですので、予定とか計画中の状況です。
大橋委員長	見ていただき、次回意見をいただきたい。
熊谷委員	市制施行50周年事業で、公民館は5館ありますが、各公民館で特別企画を考えてはいかがですか。
渡辺社会教育主事	各館から一人プロジェクトを組んで、一つの事業として、若者を対象にして、シンポジウムを4月12日から開始しています。
中嶋館長	公民館で取組みしています。
熊谷委員	宜しく申し上げます。
大橋委員長	これに9月15日の科学の祭典があります。
田頭副委員長	市制への提言の予算はどのくらいですか。
渡辺社会教育主事	15万円です。
田頭副委員長	若者に15万円で、何をやりたいと言っていいのですね。公民館の予算を15万円使えるんだと。
中嶋館長	もっばら若者達の情熱と発言、実行力に期待するということで、消耗品等で消えてしまうと思います。コーディネーターは若者達が自発的に選んでもらうことになります。

(2) 公民館の基本方針づくりについて

大橋委員長

公民館の基本方針について審議したいと思います。この間の三者懇談会の後で、田頭副委員長、内古閑委員、長田委員と私とで打ち合わせをし、若干修正をしました。それが今配られたものです。まず説明いたします。基本理念について、修正しました。ほとんど文言の並び替えです。何かご意見ありますか。基本理念ですから、非常に短い言葉で簡潔にしていきたい。後で意見がありましたらお願いします。運営の2、3番目は、そのまま市民参加の原則を書いています。それから職員、公民館運営審議会委員、企画実行委員三者の連携を密にし、各館は特性を活かした特長ある取り組みをし、利用者の意見を重視して、それに配慮したサービスの取り組みをする。それから非常に重要で今までにない新しい方針ですけども、公民館の基本理念の実現と社会情勢の変化に的確に的確に対応する為の毎年度の方針を館長が提案し、公民館運営審議会で審議し、職員、公民館運営審議会委員、企画実行委員の三者の協議を経て決定する。これは平成21年度から実施したい。事業について、最初は地域連携の充実を図り、それから公民館が主催する講座、特に地域が抱えている課題や生活に関するもの、そういったものを主に取り組み、それを楽しくできる工夫をします。そして、関係機関と協議して市民の要求や市民の生活を支援します。次は自主講座の支援について、市民講師の育成と活用を図っています。小金井市は優秀な市民が多いですから、市民活動を盛んにするためにも市民に活躍してもらうことは大事なことです。それから自主的な仲間づくりやサークル、市民団体を公民館がサポートする。公民館まつりそして、次は評価です。ここに新しく、事業運営の評価を入れてあります。これは前回の打ち合わせで提案があったものです。文言についてですが事業運営の評価は公民館運営審議会が行い、館長、職員と関係者はそれを生かすための改善や充実に努め、毎年度の方針を提案するのは、館長としたい。

田頭副委員長

提案者にこの項目が出てきた背景を話していただきたい。

大橋委員長

提案者から評価がいるということです。

長田委員

運営のところに職員体制の件をいれるべきだということについて、賛成、反対がありましたので、そういう文言は入れないで、評価の項目に運営に関する事として書いておけば、何か問題があつた時には話し合えるということで、それを新規追加として入れました。

大橋委員長

職員体制の充実とか拡充ですね、それはただ条件を書くのではなく、事業評価として充実したり改善したりすることができます。

田頭副委員長

職員体制に関しては意見を盛り込まないということも意見が分かれています。あり方もこう絞るということではなくとも、職員・スタッフの体制が重要なのは共通の認識だと思います。そこは市民参加で意見が言えるような仕組みは残しておかないと、市民代表の運審としての役割がありますから。そこで事業評価だけでなく、運営の評価を入れることによって、2運営の(2)、公民館の運営に当って、職員、公

	<p>民館運営審議会委員、企画実行委員の三者がそれぞれの役割を果しながら、それぞれ緊密に連携し、三者間の日頃の意思疎通を図る。市民参加でより良い形にしていくとの解釈でいきたいという意見でした。今後、体制については改めて検討していただきたいと思います。</p>
君塚委員	<p>そういう説明でしたらいいですけども、評価は大きな作業なので、例えば、学校で評価というと新たな事業になります。評価をどうしていこうかということに、何か名案というか、考えがありますか。</p>
大橋委員長	<p>具体的な評価方法とかは、まだ決めていません。どうするのか検討していきたい。大きな仕事だと思います。公運審は、常に各事業について評価をしているわけです。方法について考えてはと思います。</p>
君塚委員	<p>わかりました。</p>
大橋委員長	<p>広報について、職員が、広報、月刊公民館、ホームページを作成していますが、そこに市民参加を含めては。例えば、きらり立川は市民が作成しています。企画実行委員とか、新しいプロジェクトによるホームページ作りということもあります。年間4千円ぐらいでも出来ます。公民館の案内等は、市民により簡単なPRサイトを作って、お金をかけないでそこでやることもできます。公報活動を充実させる必要があります。それと、月刊こうみんかんは町会で回覧していますが、非常に読みにくい、一回綴じられているところを外して、中身を取り出して読まなければならぬ。体裁も考える必要があります。立川では自前のプリンターを使っている。安くて早い。</p>
中嶋館長	<p>教育委員会の「教育だより」も、この方式で長い経過があります。</p>
田頭副委員長	<p>綴じ直して、見えるように折って回します。市民からすると、こういう情報は一番知りたい。充実させたい、充実させたいです。これは提案になりますが、広報誌の再検討をお願いしたいです。</p>
中嶋館長	<p>下の20年度は21年度ですね。</p>
大橋委員長	<p>次年度の事業計画になります。公民館が提案者となっていますので、この情報紙について、館長が素案を作ってください審議したい。前年踏襲型でない時代を反映したものにしていったらいい。改正社会教育法では社会の要請に応えることが新しく加わりました。</p>
田頭副委員長	<p>決まったのですか。</p>
大橋委員長	<p>決まっていないのですが、決まるでしょう。</p>
君塚委員	<p>これで宜しいのではないですか。</p>
大橋委員長	<p>これで宜しかったら、基本方針案として公運審から出したいと思います。それから黒丸は便宜上つけましたが、どうしましょうか。</p>
中嶋館長	<p>この黒丸を処置するには、行政では、最初の項目は、アラビア数字にして、その次は括弧で括弧の中にアラビア数字を入れ、その次はカタカナにします。</p>
竹内委員	<p>その方がいいです。</p>
大橋委員長	<p>優先順位はありませんが、そのようにします。基本理念はこれよりいいですか。なかなか短い文章にするのは難しいです。</p>
田頭副委員長	<p>誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう市民交流を推める</p>

で切るのは難しいでしょうか。

大橋委員長 推めるといって、推める身近なと続いた方が、スムーズではないか。

君塚委員 推めて、で点にしては。最後の下線の部分は検討中ということですね。

大橋委員長 ここで決めてもらえばいいです。

君塚委員 市民の生活学習活動を支援し、活動の場を提供する、でいいのでは。

大橋委員長 市民の生涯学習活動を支援し、活動の場を提供する。それにします。文言は、読めば分かりますから。これで公民館運営審議会案として提案します。それで、三者で決めることになりますから、日程の設定をしていただきたい。

田頭副委員長 ある程度、公運審で日程を決めておいたほうがいいです。皆さんの予定を聞いておいたほうが。これは4月の企画実行委員会で提案という形になりますが、それは早すぎますか。

渡辺社会教育主事 各館で4月の企画実行委員会で報告していきます。

大橋委員長 清打ちして持参します。

田頭副委員長 5月中に話し合いをもつ予定ですね。

大橋委員長 案として提出します。部屋予約の関係から火曜日の休館日にすることになります。4月15日（火）とし、場所はどうしますか。

田頭副委員長 本館の企画実行委員会で説明をしてください。

大橋委員長 4月15日（火）午後3時30分から緑分館とします。

渡辺社会教育主事 お知らせがあります。市民講座で新しい公民館事業を考える講座を実施しますので、どうぞ参加してください。

大橋委員長 第29期公民館運営審議会第6回を終了します。

